

## 青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			R5年度(実績)					今後の方針		備考	担当課			
			短期	中期	長期	実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容又は施策の方向性等	予算額(千円)					
			～29年度	～R元年度	～R5年度												
①地域コミュニティの増進、活力のあるまちづくり	①青谷地区を中心としたコンパクトなまちづくりを進め、憩いや賑わいの空間を創出する。	地域生活拠点の整備【生活基盤の充実】 【工業の振興】	○青谷憩いの場整備等	○青谷憩いの場整備等		-	-	-	-	完了のため、反映しない。	-	R元年度で完了 青谷ようこそ広場	都市企画課 青谷町総合支所	1	産		
			○JR駅前広場周辺整備等	○JR駅前広場周辺整備等		-	-	-	-	完了のため、反映しない。	-	R元年度で完了 JR青谷駅前整備	都市企画課 青谷町総合支所	2	産		
			○企業誘致	○企業誘致	○企業誘致	鳥取市に立地したいという企業の情報がなかったため、特になし	-	-	C.未達	3.現状維持	企業立地・支援課と支所の調整が必要であり、支所のみで動ける事項ではない。	-		企業立地・支援課 青谷町総合支所	4	産	
	②全体的に人口が減少し高齢化が進む状況の中、各地区公民館は地区の特性を活かした事業に取り組んでいく。	地域活性化イベントの再構築【協働のまちづくりの推進】	○鳥取市西いなば地域振興ランドデザインとの連携 ○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着	伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的イベント開催及び青谷上寺地遺跡の利活用を推進する事業の支援 〈青谷因州和紙産地強化事業〉 ・日置地区納涼祭で和紙ドームの制作、展示 ・手すき和紙保存事業でトロアオイ、こうぞ栽培への支援 ・和紙PR事業の実施 〈青谷ようこそ市場事業〉 ・青谷ようこそ市場(7・9月開催予定) ・あおいちギャラリー(10/21～11/5) ・あおいちイルミネーション(12/15～1/15) 〈青谷上寺地遺跡利活用推進事業〉 ・とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタ(11/23) ・青谷かみじちスタンプラリー(11/11～12/17) ・青谷かみじち史跡公園オープンに向けてまちのにぎわいづくりを進めるつどい(第1回10/7、第2回3/3) ・史跡公園オープニングイベント「古代米のもちつき」(3/24)	2,850	2,485	A.達成	3.現状維持	イベントについては、目的や内容の再精査が必要。 伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的イベント開催及び青谷上寺地遺跡の利活用を推進する事業の支援 〈青谷因州和紙産地強化事業〉 〈青谷ようこそ市場事業〉 〈青谷上寺地遺跡利活用推進事業〉	2,850		青谷町総合支所	5	地
				○各地区のまちづくりリーダーの発掘・育成	○各地区のまちづくりリーダーの育成	○まちづくりリーダーの発掘・育成 ○まちづくり団体の育成 ○まちづくり協議会組織の充実	・地域活性化推進事業(市補助金)を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会(7団体)」を支援：因州和紙活用活動、美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地遺跡学習活動、青谷町物産販売促進活動、青谷の魅力発掘活動、観光促進活動を実施 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換	1,130	1,117	A.達成	3.現状維持	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会(7団体)」を支援：因州和紙活用活動、美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地遺跡学習活動、青谷町物産販売促進活動、青谷の魅力発掘活動、観光促進活動を実施 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換・	1,130		協働推進課 青谷町総合支所	6	地
				○「卓球のまち青谷」の復活【スポーツ・レクリエーションの振興】		○卓球のまちづくりの推進	「卓球のまちづくり」の推進 ・卓球大会の協力 ・体育協会青谷町支部主催で、「青谷上寺朗杯卓球大会」を12月3日に開催。(参加者：52名) ・青谷高校卓球部員及びOBによる卓球教室開催協力 ・青谷オープン卓球大会の開催支援(11/4、5)	400	400	B.概ね達成	2.改善継続	・青谷かみじろう杯との関係を整理した上で、事業の方針を精査していく。	400		青谷町総合支所	7	地
				○青谷高等学校活性化に向													

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			R5年度(実績)					今後の方針		備考	担当課		
			短期	中期	長期	実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容又は施策の方向性等	予算額(千円)				
			～29年度	～R元年度	～R5年度											
③青谷高等学校は、特色のある取組や地域との繋がり強化に取り組む。		②国際交流事業の継続・拡大 ②地域住民と連携した「青谷学」課題探究取組の推進 ③保育所、小中高との連携強化 【教育の充実・郷土愛の醸成】	けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参画 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成)	○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成)	○郷土愛を育む事業 ・青谷高等学校の青谷学への事業協力 ・小・中・高校生のイベント等への参画	—	—	—	—	—	—	—	削除	青谷町総合支所	8	
			地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・支援 ・「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域賑わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題探究の支援	—	49	A.達成	3.現状維持	青谷高校の特色ある学校作りを支援するため、高校の意向を踏まえて適切な支援を行っていく必要がある。	80	—	9	地				
			青谷上寺地遺跡を活かした「弥生文化探究」カリキュラム創設による考古学を打ち出した青谷高等学校の魅力化を推進する。 令和5年度から県外から青谷高等学校に入学し、青谷上寺地遺跡等を活用した地域学習を履修する生徒に対して支援をすることとした。	○青谷高校の魅力化の取組の支援	360	0	C.未達	2.改善継続	青谷高校が取り組む「地域みらい留学」において、青谷上寺地遺跡棟を活用した地域学習を履修する生徒に対しての支援を継続する必要がある。	360	—	10	地			
			—	—	—	—	—	—	—	削除	青谷町総合支所	11				
②地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり	①歴史的資源・自然的資源・農産物を含む地場産業・文化的資源などを道の駅を核として有効活用した取組を進めることが、中山間地域対策に重要であり、住民が誇れるまち・魅力あるまちをめざし交流人口の拡大を図る。	地場産業の育成 【農林水産業の振興成長産業化】	○地場産業の現状把握	○地場産業の現状把握	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			○特産品の販路拡大	○特産品の販路拡大	○特産品の販路拡大	市民活動を通し、県外へ特産物の販売・PR及び企業等に販路拡大 ・池田市ダイハツ工業生活協同組合へ、青谷ようこそ館を通じて二十世紀梨を407箱販売	—	—	C.未達	3.現状維持	支所として農林水産物の県外への販路拡大には取り組んでいないため、事業内容の精査が必要。	—	—	12	産	
			○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保	支援の要請等がなかったため、特になし(研修実績は、青谷支所1名(いか・刺し網等)、夏泊支所2名(定置網))	—	—	C.未達	3.現状維持	支所として研修生の積極的な募集はしていないため、事業内容の精査が必要。	—	—	14	産	
			○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	○夏泊朝市の実施・水産資源を活用した地域の活性化・交流人口の拡大	夏泊朝市を4年振りに復活 R5.5.13～10.28の間に9回開催	—	—	A.達成	2.改善継続	定着しつつあるイベントのため反映した方がいいと思うが、実施主体が市ではないため、反映方法等に工夫が必要。	—	—	15	産地	
			○ジオ関連ガイドの養成 ○ガイド団体の設立	○ガイド団体の育成 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定	○ガイド団体の育成 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定	青谷かみじち史跡公園オープンを視野に入れて、青谷地域の観光資源の観光ガイド体制を確立するため、青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講生の人材活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図った。 ・観光ガイド体制の運用及び観光ガイドコースによるガイドの実施 ・青谷町ガイドネットワークによる青谷町歴史探訪ガイドコースでのガイドの実施 ・市観光ジオパーク推進課、鳥取市あおや郷土館、支所市民福祉課と連携して、新たな青谷かみじち史跡公園周辺コースを設定した「あおやかみじちマップ」を作製した。また、山陰海岸ジオパーク推進協議会が「夏泊・長尾鼻コース」の最新版を作製した。	—	0	B.概ね達成	2.改善継続	青谷かみじち史跡公園オープンにより、青谷地域の観光資源の観光ガイド体制を確立するため、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図る。 ・観光ガイド体制の運用及び観光ガイドコースによるガイドの実施 ・青谷町ガイドネットワークによる青谷町歴史探訪ガイドコースでのガイドの実施 ・「あおやかみじちマップ」「夏泊・長尾鼻コース」、「勝部不動滝コース」を活用して、ジオガイド、青谷町ガイドネットワークによるガイドの実施。	—	—	16	地	

青谷町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			R5年度(実績)				今後の方針		備考	担当課					
			短期	中期	長期	実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容又は施策の方向性等				予算額(千円)			
			～29年度	～R元年度	～R5年度													
		【文化財の整備・保存・活用】 【文化芸術によるまちづくりの推進】	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の育成	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の設立	—	—	C.未達	2.改善継続	整備や運営方法について、県と連携しつつ市として取り組むべき内容の精査が必要。	—		文化財課 青谷町総合支所	17	地			
		【滞在型観光の推進】	○情報板等の検討・整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○史跡、文化財、自然等地域の素材を活かし、歴史認識、地域への愛着を深める	—	—	—	—	完了のため、反映しない。	—	R元年度で完了 JR青谷駅前広場観光案内版移設	都市企画課 観光・ジオパーク推進課 青谷町総合支所	18	産			
					・こばしまウオーキング(青谷地区) 赤尾谷にを通り、今年オープンする史跡公園周辺を見学する、「青谷かみじち史跡公園コースⅡ」10月22日開催し37名参加	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・こばしまウオーキング(青谷地区) 今回新たに作成された「青谷かみじちマップ」に掲載してあるコースで計画。	—		観光・ジオパーク推進課 文化財課 青谷町総合支所	19	地			
	②青谷高校と連携した鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	賑わい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大 【商業とサービス業等の振興】			○「西いなばの逸品」商品開発	—	—				—	—	—	—	—	—	20	地
③安心・安全なまちづくり	①各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取組を図る。	自主防災組織の充実と連携 【地域防災力の向上】	○自主防災組織の体制整備・連携	○自主防災組織の体制整備。 ○自主防災組織訓練の高度化の検討	○自主防災組織の体制整備。 ○自主防災組織訓練の高度化	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	青谷町自治連合会研修会等において、各種助成制度を周知し、自主防災会組織の訓練促進を図った。	—		危機管理課 青谷町総合支所	21	地			
		避難行動要支援者支援制度への登録啓発(新規登録、追加登録の促進) 【地域防災力の向上】	○制度の啓発及び地域との連携	○制度の啓発と本事業における地域の役割について地域の理解を深める。	○制度の主旨、地域の役割等について周知を図り、登録を促進する。	・青谷町自治連合会研修会(R06.03)、民生児童委員協議会定例会(R06.03)等の機会を捉えて制度周知と登録奨励依頼 ・社会福祉協議会と連携し、機会を捉えた制度周知と登録促進を実施 いきいきサロンへ出前講座の案内(R05.06)を実施 《参考》令和5年度末登録者数:252人	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	継続して取り組む必要がある。	—		危機管理課 地域福祉課 青谷町総合支所	22	市		
		ひとり暮らしの高齢者世帯へ「安心ホットライン」設置啓発 【地域包括ケアの推進】 【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を促進する。 ・窓口機器の見本を設置 《参考》令和5年度末設置者数:26人	・青谷町自治連合会研修会(R06.03)、民生児童委員協議会定例会(R06.03)等の機会を捉えて制度周知と設置促進を実施 いきいきサロンへ出前講座の案内(R05.06)を実施	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	継続して取り組む必要がある。	—		危機管理課 長寿社会課 青谷町総合支所	23	市		

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			R5年度(実績)					今後の方針		備考	担当課	
			短期	中期	長期	実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容又は施策の方向性等	予算額(千円)			
			～29年度	～R元年度	～R5年度										
		高齢者・障がい者等を地域で見守り支え合うネットワークづくり 【地域包括ケアの推進】 【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】	○青谷町住民の健康・福祉の現状を地域住民へ伝える。	○青谷町住民の健康・福祉の現状について、地域住民の理解を深め、改善のための気づきを促す。	○青谷町住民に、健康・福祉の充実の必要性を伝えるとともに、地域住民と協働してできることを話し合い、できることから取り組んでいく。 ・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や啓発等を引き続き実施 ・精神障がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助言・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒に組んでいく	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	総合戦略ID3、23を含めて整理する必要がある。			青谷町総合支所 西地域包括支援センター	24	市
	②地域・住民と協働し生活交通の維持確保を図る	持続可能な生活交通の維持確保 【公共交通の確保】 【交通ネットワークの充実】		○青谷町地域における生活交通の維持確保	・青谷地域生活交通協議会の開催(5回) ・「路線バスがR6.3.31限りで廃止」と公表されたことを受け、R6.4.1から市有償バスを運行するための準備(試験運行・時刻表作成・住民への周知等) ・市有償運送からの移行が想定される共助交通について、まちづくり協議会への情報提供等	—	—	A.達成	1.拡充	地域に合った生活交通のあり方の実現に向けて、取組を推進する必要がある。	—	R5 絹見バスの運行に係る予算:3,687千円 R6 青谷バス運行に係る予算:29,155千円	交通政策課 青谷町総合支所	25	産
	③地域防災力拠点施設の充実・強化	総合支所整備事業【地域防災力向上】		総合支所整備(耐震設備等改修)	青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計)(耐震性能向上改修、建設設備改修(自家発電・受水槽)、バリアフリー改修、修繕更新等)	—	—	A.達成	3.現状維持	総合支所施設改修により防災機能の充実を図る。	—		財産経営課 青谷町総合支所	26	地
	④超高速情報通信基盤の整備	光ファイバーによる超高速通信網の整備【地域情報化の推進】		光ファイバーによる超高速通信網の整備	—	—	—	—	—	—	R3年度で完了		情報政策課 青谷町総合支所	27	地
④まちづくりを支える自立した自治体経営	①公共施設の利活用	青谷上寺地遺跡展示館の利活用 旧青谷町商工会館の利活用 【魅力ある中山間地域の振興】		○青谷上寺地遺跡整備に伴う展示ガイドンス施設整備により閉館予定とされる青谷上寺地遺跡展示館の利活用検討 ○遊休施設となっている旧青谷町商工会館の利活用検討	・青谷上寺地遺跡展示館の閉館後の施設について、有効な利活用方法について検討を継続し、活用方法を決定する。 ・旧青谷町商工会館の利活用について、西商工会と連携した利活用方法、民間事業者やNPO等による団体利活用を含めた、有効利用について検討・模索する。 ・地域生活拠点として、駅前広場の効果的な利用について、青谷ようこそ館を含めた、一帯の将来にわたる継続的なあり方を検討する。	—	—	C.未達	2.改善継続	・青谷上寺地遺跡展示館の閉館後の利用については、令和8年度まで青谷かみじち史跡公園分室が使用することとしており、令和9年度以降の利用について検討する必要がある。 ・旧青谷町商工会館は鳥取市西商工会が売却の意向を表明しており、今後は民間事業者による運営となるため利用検討は中止する。 ・にぎわい広場の活用方法については、地域振興会議を含め市民と議論を進めながら検討していく。			文化財課 都市企画課 農政企画課 青谷町総合支所	28	地